

なな

7月号
vol. 173

おとなの 社会科

特集

第2講 地理 — こつま街道

「初夏の道」
住之江公園にて撮影

こつま＝勝間

西成区のほぼ中央、国道二六号線となにわ筋の間に、一本の細い道が南に向かって伸びている。地元の人からは昔から「こつま街道」と呼ばれ、親しまれている道だ。起点は道頓堀の西方、そこから今宮までは浪速区を走り、国道四三号線を越えて西成区を縦断、最後は住吉区の粉浜で紀州街道に合流する。

こつま街道の名は、現在の千本、岸里、玉出辺りに存在した勝間村に由来する。この一帯は江戸期には大阪でも著名な一大農村地帯で、勝間村でもこつま南瓜を始めとする多くの野菜類、また米や麦などが作られていた。特に綿花の栽培は村内全ての耕作地で行われるほど盛んで、ここで織られた勝間木綿は絹のような光沢で名声を博したという。村の中央を南北に貫くこつま街

おとなの社会科

第2講 地理 — こつま街道

昔、使った教科書をパラパラめくってみると、あの頃には気づけなかった面白さがみえてみた——そんな経験はないだろうか。学校の教科書は昔と同じではない。だから、大人になってからの学び直しも決してムダではないはず。学校に通ってた頃を思い出して、もう一度、目の前に広がる社会を学び直してみませんか。

街道をたどって

一九四〇（昭和十五）に開通した国道二六号線に物流の主役の座を奪われて以来、地域の日々の生活を支える裏街道としてひっそりと生き延びてきた。

今回は春のこつま路を勝間村へ向けて辿り、街道の過去と現在を拾い集める短い旅に出ることにした。

歩き始めは南開の交差点付近から。こつま街道のルートは、浪速区内の道頓堀〜今宮間では消滅している部分も多いが、西成区内では全域にわたって、かつての街道筋がそのまま残っている。今歩いている出城、長橋辺りは一九四五（昭和二十）年の大阪大空襲で大きな被害を受けた。そのためか、昔を偲ばせる街並みは無く、工場の多さばかりが目につく。鶴見橋商店街と交差するまでに、二つの地藏堂

道は、当時は一帯で作られた産物を大阪中心部に運ぶメインストリートとして賑わっていたようだ。また、紀州街道のバイパスとしての役割を担っていたことから、紀州・熊野方面への旅人も多く行き来したことだろう。

明治の終わり頃から勝間村は

①②を見つけた。昔からあったものだろうか。旅人たちが手を合わせ、道中の無事を祈ったかもしれない。

鶴見橋、旭を過ぎ、梅南に入る。商店が増え、人通りも多くなってきた。この一帯は明治後期に大規模な区画整理が行われ、主要な道路は基盤の目状にすっきり整っている。こつま街道もこの辺りでは一直線に伸びて見通しが良い。さらに南下し、松橋と閑静な住宅街を行くが、家屋の大半が最近のものに建て替わっている。ふと目に入った駐車場の看板には「勝間パーキング」の文字。すぐ近くに「こつま薬局」もあった。

勝間村に入る

住居表示は橋から潮路へ。道が細くなり、少しずつ左右にうねり始める。街並みも昭和の趣が始め、明らかに雰囲気が変わ

わった。かつての勝間村に入っただのである。この辺にはまだ、昔ながらの街道らしい風情が残っている。松虫通、南海汐見橋線と交わった先、千本中一丁目にも地藏堂③があった。「子養地藏尊」との表記がある。

さらに歩くと

国道二六号線との交点。ここは勝間村のほぼ中央に当たる場所だ。現在は商業ビルやマンションが立ち並んでいるが、かつてはアメリカ南部を思わせるような、見渡す限りの綿花畑が広がっていたのかもしれない。戦時中には米軍機が国道二六号線



1



2

鶴見橋に立つ二人のお地藏様

短い旅の終わりに

日常を守ること。こつま街道は数百年の間、西成に生きる人々の、ささやかな日々の暮らしを支える存在であり続けてきた。声高に語ることはしないが、この土地



※白線は旧玉出町の町界線(Wikipediaのデータを基に推定)
※岸里玉出駅は、1903(明治36)年まで「勝間駅」だった。

住む奥様が、女中さんを連れて買い出しに来ることが多かったそう。この頃は、こつま街道沿いにも筆筒屋、餅屋、毛糸屋など多くの店舗があった。

令和の玉出に、以前のような活気は無い。公設市場は十年以上前に閉鎖、こつま街道の商店も後継ぎの不在などで次々に閉め、現在はこの煎餅屋のほか数軒が残るのみとなった。「いい時代でした」。華やかだった当時を思い出し、おそらく様々な思いを込めて発したであろうその一言が、帰り道の途中、ずつと頭の中をぐるぐる巡っていた。

に淡々と存在することで、自らの意思を示し続けてきたように私には思われる。これからの百年、この道は何を運び、何を見届けることになるのだろうか。後日、撮り残した写真のことを思い出し、再びこつま街道を生ぐらしいの男の子、女の子。お

母さんたちは自転車を止めて談笑しながら、その様子を微笑ましそうに見つめている。往来には子供たちの歓声が高らかに響く。昔も今も変わらない、こつま街道の姿である。

文責：福井龍磨・若松司

で、名を歓喜天というらしい。いかにも街道筋らしく、足元の石柱には「往来安全」と彫られている。

こつま街道を少し離れて、生根神社に立ち寄った。境内には「こつま南瓜塚」(5)がある。江

玉出いまむかし

玉出本通商店街と交差する地点(6)までやって来た。錆びた無骨なアーケードが時代を感じさせる。少し奥まったところに



昭和の面影を残す玉出本通商店街



象の姿をした歓喜天



子養地藏尊

戸時代に飢饉が起きた時、勝間村の住民たちは保存していたこつま南瓜を食べて飢えをしのいだ。その感謝の念を込めた「かぼちゃ石」がこの塚の原型だという。飢餓という言葉が常に身近にあった時代はとうに過ぎ去ったが、村人の命を守ったこつま南瓜は今も、この地の守り

玉出公設市場の入口があったが、既に閉鎖されており、中に入ることはできなかった。電器店の壁には、こつま南瓜の絵が何点か飾ってある。近くの小学校の生徒が描いたものらしい。人が自分の名前を生きている存在であるように、土地も自らの名前を生きている。この土地は今も「こつま」の名を生きているのだと知った。



生根神社内のこつま南瓜塚

ナイスの仲間たち

西成の地域課題や社会問題の解決に挑戦してきたナイスは、来年で創業25周年を迎える。この世代交代の転換期に当社は何をめざすべきだろう。現場で各事業を牽引するリーダーたちに問いかけてみる。

代表取締役
寺嶋 公典さん

VOL.01



㈱ナイスは翌2022年に設立25周年を迎える（創業1997年）。この節目を前に2代目社長の寺嶋公典さんに取材した。奇しくも、取材当日は設立記念日の5月28日だった。

これまでのナイス

社員の自分も一言で説明する自信はない。いったいどんな会社なんだろう。

Q 設立のきっかけは？

A ナイスが西成で産声を上げたのは、1997年5月。被差別部落の人権問題解決のための同和对策事業（1969〜2002年）の期限切れが迫り、西成のまちづくりが変わろうとしていた時代です。残された課題やこれから迎える社会課題の解決は、行政に頼るのではなく、「自分たちでやっつけよう！」を合言葉にしました。当時から西成のまちは超高齢化を迎えてい



て、福祉設備が充実した住環境の整備というハード事業は不可欠でした。そのため最適な事業形態として株式会社を選び、ナイスを設立しました。

Q どのような事業を？

A いま話したように、ナイスは西成のまちづくりを引き継ぐ会社ですから、お客さんである地元住民やマイノリティ当事者の声から事業を生み出しています。たとえば地域内に民間マンションを建てて、従前の居住者がより快適に、引き続き住み慣れた場所で暮らせるような仕組みづくりに挑戦しました。それは単なる不動産事業ではなく、「多様で良質な住環境」という資産をまちへ残していくというミッションを伴っていました。

医薬分業に応える薬局や介護保険の開始に伴うリフォーム、福祉用具のレンタル事業もまちのインフラを整備するという意味がありました。また、地域を飛び出して障がい者や野宿生活者等の就労支援および働く場の創出に取り組む環境福祉事業も柱の一つです。

これらは地域に雇用を生み、格差を乗り越えて社会活躍を目指す一助になります。「街づくり・人づくり・仕事づくり」を掲げ

て地域への還元をめざしてきたのが、ナイスという会社です。

Q やりがいを感じる時は？

A 地域や社会の課題解決に向けて前進する時かな。最近だと、隣保館「ゆくとあい」に寄せられた相談から見えた生活課題と空き家の活用というナイスの不動産事業を掛け合わせて、「ああでもない、こでもない」と悩みながら、シェアハウスの運営を始めることにしました。こういう時にはやりがいを感じますね。

これからのナイス

Q 今後挑戦してみたいことは？

A 地域の将来を担ってくれるように、地元の子どもたちと顔の見える長期的な関係を築いていきたいと思いますが、ナイスにはなじみにくい事業かもしれません。ただ、地域の各種団体、社会福祉法人、NPO法人などの協働・連携ができますので、子どもたちの教育や子育て事業に取り組んでいきたいです。

まちづくりの現在を担ってくれる人材も

必要です。西成のまちづくりは人材の世代交代という過渡期にあります。私たちのま

ちには解決しなければいけない課題がたくさん残っていますので、そうした課題に取り組んでみたいという方がいれば、ぜひ一緒にやってみたい、応援したいと思っています。いま、ナイスではそうした呼びかけを発信できる体制を整えているところです。

Q 各事業部・スタッフに求めることは？

A 設立の経緯からも地域の課題解決が会社の使命。普段から、差別や困難を前にして困っている人の声に耳を傾け応えてほしい。その悩みは、より一般性のある社会的課題に通じています。課題がすべて解決することはありません。でも、それをやっつけようとする気持ち、解決した先の将来像を持ってほしい。「西成って大変やろ？」と言われたときに「いや、良いところはたくさんあるよ」と返せるようにチャレンジしてほしい。こういう意識をもつ人を全力で応援していきたいです。

取材を終えて



株式会社ナイス
〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-9 2F
TEL: 06-6563-1150 FAX: 06-6563-1151

「ん〜ナイスとは…、一言では言われへんなあ」という寺嶋社長の言葉は、実はインタビューの最後まで悩まれた末の言葉。今では「社会的企業」という言葉は珍しくないが、言葉だけでなく正に先陣を切って挑んでこられたことがわかった。僕の転職条件は、社名に地元地域名が入っていること。「Nishinari Inner City Enterprises」= NICE という社名で即決したので覚えている。僕も1ファンでなく、やらなければ。

文責：安田拓也・福井龍磨

[沖田一志]2002年から使ってた小銭入れを紛失。いままでも、財布や鍵など紛失の経験がなかったのでダブルでショックだった。結局、3週間後に家の中で発見。返ってきた小銭入れは現役に復帰。



[田岡秀朋]予防接種のクーポンが届いた。コロナではなく「風しん」の。コロナ前なら無視していたがもしれないが、ちゃんと受けようと思う。



[谷口円]自らをひとことで表すなら「怠惰」な私ですが、夏は本当〜〜〜に怠惰が極まります。すでに暑くて憂鬱です。冬眠ならぬ夏眠がしたいです。目が覚めたら秋になっていたらいいのに…。



些事争論

些事でも何でも気になったらあれこれ考えてみよう。いいこと思いつくかもしれないし。気づいたら西成にたどり着いていた、或るオタクのおスマシ系コラム。

『アンモニアが燃料になる？』

小学校の理科の実験で覚えている人は多いだろう。強烈な刺激臭を放つ、あのアンモニアが、いまカーボンニュートラルを支える燃料として注目を集めている。化石燃料は炭素を含んでいるので、燃焼すると必ず二酸化炭素を排出する。しかしアンモニアは、分子式NH₃が教えるように、炭素を含まない、燃焼しても二酸化炭素が発生しない、カーボンフリーな燃料なのだ。

「燃料」とだけ聞くと、ガソリンや軽油のように自動車のレシプロエンジンの燃料を想像しがちだが、アンモニアは主に発電所で電気を作するために用いられる。詳しく知りたい方は「アンモニア 燃料 経産省」で検索を。では、簡単に要点を説明しよう。

1. 実用化の可能性
アンモニアは肥料や工業製品の原料や大気汚染対策の還元剤として昔から広く利用されており、製造・輸送・貯蔵技術が確立されている。新たな技術開発が不要なので実用化のハードルは低い。

2. 生産量
アンモニアを燃料として大量に消費すると、生産量が不足する可能性が高い。肥料の原料でもあるので、何らか

の対策が必要になる。アンモニアは現状、天然ガス由来の水素を原料に生産されているが、水の電気分解など再生可能エネルギーを活用した製造も可能。

3. 混焼
アンモニア単体で燃焼させるのは難しいので、石炭や天然ガスと混焼する実験が進められている。既設の火力発電所にアンモニア燃料を導入すれば二酸化炭素の排出量が減らせるそうだ。アンモニアだけを燃料としたガスタービンも研究されているが実用化には至っていない。

また、アンモニアは窒素を含むので窒素酸化物の排出が増え、大気汚染への影響が懸念される。しかし、現在の火力発電と同程度に抑える技術はあるらしい。

4. 水素の輸送媒体として
アンモニアは水素を含む物質なので、大量輸送の難しい水素をアンモニアに変換して輸送し、燃料として利用する場所で水素に戻す、という輸送媒体としても考えられている。同じくカーボンフリーな燃料とされている水素の可能性と課題もついでに述べておく。

(1) 製造方法は同じ。現在はアンモニアと同じ天然ガスから製造されている。同様に再生可能エネルギーを利用して水の電気分解で製造できる。

(2) 燃料として実用化。水素はそのまま燃料としてガスタービンやレシプロエンジンで利用できる。大型化は難しいが燃料電池で利用すれば、高効率での発電も。

(3) 貯蔵・輸送が難しい。常温では気体である水素を大量に輸送するには、氷点下253℃まで冷却して液化しなくてはならない。常温での貯蔵・輸送には、高圧で非常に危険な超高压タンクが要する。ちなみにトヨタの燃料電池車Miraiの水素タンクの圧力は70MPaになるそう。ハガキ1枚(150cm²)に107トンの圧力がかかる計算になる。

5. まとめ
アンモニアは現段階では化石燃料との混焼が必要なので、カーボンニュートラルの実現に役立つ燃料という位置づけなのだろう。製造段階で発生する二酸化炭素の処理方法、再生可能エネルギーからの製造など課題はあるけど、面白い話だと思いませんか？



【安田拓也】音楽ライブが中止で、配信ライブとなった。分かってはいたが、画面サイズと音響環境、そして会場までの高揚感など、現場独特の緊張感リアルに替え難い。再開が待ち遠しい。



【福井龍磨】なにわ筋は日が落ちてから歩くのが一番良い。幸町から北に上って、西大橋まで。ネオンで青く染まる川。高さの揃いない街路樹。ありふれた街の風景だが、ここにしかない夜の形がある。

melody of smiles



気温も高くなり、いよいよ夏が近づいてきました。子ども達にとっては大好きな水遊びの季節が始まります★ さっそく屋上の砂場では、頭から足まで体いっぱい「どろんご遊び」を楽しみました！



たぐの 3くふうたま

豊 間

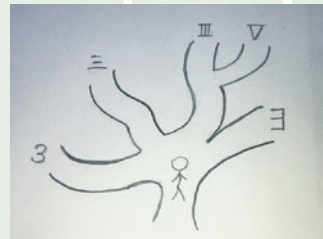
ハナレバナレになった人とまち。くらしの窓から紡ぐヒントを探してみる。

経験値

シアハウスメンバーと「ナンプレ」(数独)という数字を使ったパズルゲームをした。規則に従って7×9のマスの1〜9の数字を入れ、マスを全て埋めていく。いくつかのマスに予め入っている数字が、ヒントになったり制約になったりする。レベルが上がるにつれヒント(制約)が少なくなり、答えを一つに絞れなくなる。この時の対応が三者三様で面白い。

仮想定しながら慣れた手付きで修正してゆくA君。地道に可能性を書き出してゆく初心者、B君。そして僕はと言っと。答えに辿りついたのはA君のみ。これまでのセオリーが使えないと、数ある選択肢の中から唯一の正解に絞り込む術がなく、地に足がつかない。

話は変わるが、趣味の自転車では、目的地まで複数ある道筋も、そして最終的には合流点も経験から既に知っているの迷わない。終着点に分らない人生も、自転車のようにガシガシ漕いでゆけると良いのだけど、そうはいかない。自転車も逸れたら修正の繰り返しだったな。(安田拓也)



ゴールへの道は？



【西原夏美】この前、友人にff14というオンラインゲームへの強制帰還をさせられたんですが、久々でしたが楽しいですね。最新のストーリーでも泣きましたし新作でるのが楽しみです。



【西田吉志】現在、地元エリアの公営住宅自治会を訪問して回っている。運営状況を教えていただいたためだ。まだ回り切れてないが会長や役員のパワーでどうにか維持してるという印象。

葉っぱの吐見

私は草木が大好きです。とくに観葉植物には心癒されます。私と葉っぱとお喋りを聞いてください。



「クローバーの葉っぱ」の巻

まって、まって。どこに行くの？ お日様を呼び止めた。

ちがう、ちがう。そっちじゃないよ。雲を呼んだ。

おーい、おーい。こっちに来てよ。風を誘った。

ほんのしばらく、あとちよつと。もうすぐだから。土に伝えた。

そして、四つ葉の葉っぱは顔をだす。

三つ葉の葉っぱたちはホッとする。

赤井まゆみ

クローバーのこと
マメ科トリフォーリウム属の一年草または多年草。日本で愛されているのは、シロツメクサの種類。花言葉は「幸運」「約束」。

湯かげん

三たび「黒い手袋」のこと

1968年のメキシコ五輪の陸上男子200Mの表彰式のことを、ずっと前の『湯かげん』で二度書いた。一度目は、金メダルのトミー・スミスと銅メダルのジョン・カースの米国人選手が、黒い手袋を着けた握り拳を星条旗に突きつけて五輪村から追放された。高校生だったボクは、その光景を鮮明に覚えていると書いた。二度目は、銀メダルのピーター・ノーマンという豪州の白人選手も、実は、黒人選手に連帯の意思を表す「人権バッジ」を着けて表彰台に立っていた。彼は豪州のアポリジニ差別を黒人差別になぞらえていたことを後に知ったと書いた。

そして、つい最近の毎日新聞で、また新しいことを知った。1936年のベルリン五輪男子マラソンの金メダルは孫基禎で、銅メダルは南昇竜だった。彼らは朝鮮人でありながら侵略国の日の丸をつけさせられた。この時の模様は『民族の祭典』という記録映画に収められていて、二人は表彰台で日章旗を見上げずに「うつむいた」。孫は月桂樹の鉢植えで胸の日の丸も隠した。実は、メキシコ五輪の米国人選手は、その孫と南の態度を参考にして行動したと証言していたそうなのだ。それは初めて知った。高校生のボクの見たあのメキシコの光景の背後には、ボク達の国の過去があったのだとわかったのは少なからぬ衝撃だった。だから、

三たび『湯かげん』に書くことにした。

85年前のヒトラー賛美のベルリン五輪で、恐怖と闘いながらも二人の朝鮮人選手は日の丸に傅かなかった。その思いが連なるように、53年前のメキシコで、二人の黒人選手と一人の白人選手は、母国の差別に、自らへの迫害覚悟で抗議の意思を表した。後に見た写真では、悲運の人生を送った豪州の白人選手の手が、その柩を担いでいた。毎日新聞記事は、1964年の東京五輪男子マラソン銅メダルの円谷幸吉選手の遺書と、ベルリン五輪女子800M銀メダルの人見絹枝選手の遺した言葉を紹介し、国と勝敗に翻弄された悲運も書いていた。五輪の歴史はいつも表と裏の二つのドラマを繰り返して、そこに差別との闘いがあった。忘れてはならないことだ。

さて、この拙文が読者の目にとまる頃には、東京オリパラは開催直前なのだろうか、それとも中止もしくは延期が発表されているのだろうか

皮算用 胸算用

新型コロナウイルスのワクチン接種は85歳以上の方から始まり、順次65歳以上の方へ進んでいる。予約方法には選択肢がいくつかあるが、高齢者にとって困難なのはネット予約。

「ゆ〜とあい」では、予約代行の案内を送り、応募者の予約代行を毎週月曜日に行うことにした。1回目は30名、2回目は20数名、3回目は10数名とこれまで約60名の予約をした。さらに、予約日にワクチン接種に行けなかった方がいないのかを確認し対応しているところである。

ネット予約できない人はシステムから零れ落ちてしまう。今の時代、仕方がないとはいえ、行政には誰一人漏らさない対処方法を考えていただきたい。同じことを考えている仲間はずっと多いと思う。

(寺本良弘)

にしなり隣保館の館長が日々の出来事について胸のうちに皮算用していることを語っていくよ。



富田一幸

人間のしあわせ、福祉のあり方、そして新しい社会の結びつきを求めて、これからも「いい湯かげん」のテーマ探しに出かけます。



[若松司]大澤真幸・木村草太著「むずかしい天皇制」。天皇制に賛成するも反対するも、どちらにも振り切れない「むずかしさ」を教えてください。もどかしい読後感にしばらく付き合いたい。



[山村裕太]ときどき学生時代の夢を見ます。体育の出席日数が足りなくて留年しそうになる夢。実際は留年の危機なんか全くなかったのになんでやる。

地域の縁を心でつなぐ

心の時間



シルバー川柳の入選作

「アマゾンで買ったという孫
いつ行った」

インターネットの普及により、様々な情報や商品が自宅で簡単に手に入るようになりました。「オンライン法要」「リモート墓参り」など仕事の新しい簡略化傾向は、さらに「ロボット導師」「ドライブスルー葬」「ゼロ葬」「宇宙葬」と一昔前なら考えられない葬儀を生みました。

「用を雑にした時に雑用が生まれる」(渡辺和子先生)は一つ一つの作業に「心を込めて」行うことの大切さを説き、「無駄足をどれだけ踏んだかで捜査の結果が変わる」(東野圭吾作品)は、むやみに無駄を省くと大切なもので失ってしまう、と警鐘を鳴らしています。科学技術の発展で多くの恩恵にあずかった一方で「昔は不便だったけど情けがあった」と懐かしむ声もあります。社会が便利になると一人暮らしが楽になり、他人と関わらなくなりました。「義理と人情」は日本人のアイデンティティーを象徴する価値観ですが、これからも失いたくない大切な心です。

松向寺 通法

ココロ

ココはドコ？
わたしはゆ〜れ？
編集部が厳選した
「にしなり100景」
大公開！

工事現場を困うために使われる仮囲い。木の絵があることで、ちょっと爽やかですね。ココがドコだかわかった人は、ゆ〜とあいの受付まで！正解者にはドリンク無料チケットをプレゼントいたします(先着10名様限り)。回答期限は7月末日、ふるってご回答ください！

【先月号の答え】 津守2丁目の「落合下渡船場」でした！西成区にある3つの渡船場の中のひとつです。



2021年5月撮影



ゆ〜とあい

にしなり隣保館

にしなり隣保館「スマイル ゆ〜とあい」は、地域コミュニティ全体が抱える課題の解決をめざす民設民営の福祉施設です。日々悩んでおられる困りごとはありませんか？お悩み解決のためにできることをいっしょに探しましょう。

なび7月号(vol.173)

発行日:2021年7月1日(創刊日:2007年1月1日)

発行:株式会社ナイス

住所:大阪市西成区長橋3-6-33

電話:06-6563-1156

E-mail:info@nice.ne.jp

url:http://www.nice.ne.jp/

編集長:若松司

編集:沖田一志、田岡秀朋、西田吉志、西原夏美、福井龍磨、安田拓也、山村裕太(あいうえお順)

イラスト:hidarimakい デザイン:谷口円

facebook: <https://www.facebook.com/navi.nishinari/>

facebook

